

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

複雑かつ多方面にわたる情報から直感的に方向性を導く

古森 重隆 (富士フィルムホールディングス会長・CEO)

1. 以前「経営者は優れて独裁者であるべき」と述べた。もちろん、民主主義や多数決に対する意思決定を否定するつもりはない。会社経営においても、取締役会・株主総会などの民主的な決議によって重要な決定が下される。しかし、多数決では判断できない、あるいは時間的に差し遣った究極の判断が求められる場面が多々ある。その時は、その任に就くリーダーが全責任を負い、自らの判断基準に基づいて決断を下す。
2. そのためリーダーには状況を速やかに、かつ正確に見抜く「眼」が欠かせない。「課題は何か」「ライバルはどう動くか」。自社を取り巻く環境とその推移を冷徹に見極め、目指すべき方向と方策を決める。その一方で、「十分な情報がなければ、大事な決断はできない」と考えるリーダーも少なくない。裏を返せば、情報が不足しているから決断できないという言い訳にもなる。それはダメだ。ささいなことでも会議を招集し、そのたびに部下に詳細な資料を作らせる。私に言わせれば自ら考えることを放棄しているだけだ。
3. そもそも完全な情報などない。情報はもたらされた瞬間から陳腐化が始まる。状況は常に変化しており、情報もまた動いている。経営では、非常に複雑かつ多方面にわたる情報から直感的に正解や方向性を導くことが重要だ。必ずしも情報量が増えるほど正解する確率が上がるとは限らないし、ビッグデータに頼る必要もない。

(参考:「日経ビジネス」2018年3月26日号)

人事・労務について

非正社員の雇用ルールが一変 (その1)

1. 今年から、非正社員の雇用ルールが一変するような制度変更が立て続けに起きる。そのショックを雇用の「2018年問題」と称する人もいる。2018年から始まる「3つのショック」は、次の通りだ。
2. (1) 「無期転換ルール」が開始 (2018年4月) ……改正労働契約法により、有期雇用で5年を超えて契約更新をする人たちは、希望すれば無期雇用に転換できる。
- (2) 有期雇用派遣の期限が到来 (2018年9月末) ……改正労働者派遣法で有期雇用派遣は最長3年に。同一の派遣社員を受け入れ続けるには無期雇用派遣への転換が必要。
- (3) 「同一労働同一賃金」の導入 (2019年4月予定、中小企業は2020年4月) ……契約社員やパート、派遣の基本給や賞与、手当などの待遇について、正社員との間に不合理な格差を設けることを禁止。

(参考:「週刊東洋経済」:2018年3月24日号)

経営者のための理念・哲学

困難や障害を克服するヒント

稲盛 和夫 (京セラ名誉会長)

1. 画期的な発明や発見に至るプロセスにおいて、人知れず努力を重ねているさなか、あるいはふと休息を取っている時や寝ている夢の中で、まるで神様の啓示の如く、創造的なひらめきを与えられた瞬間があるということです。ひたむきに自分の専門分野の研究に打ち込んでおられる方というのは、時と場合によっては、暗中模索だったり、行く先に迷われたりするかもしれませんが、たとえそういうことがあっても、まっしぐらに進んでおられる。
2. この宇宙には知恵の蔵、真理の蔵というものがある。純粋な情熱を傾けて一心不乱に取り組むその真摯な努力に対して、神様は知恵の蔵の扉を開き、一筋の光明が差すような、困難や障害を克服するヒントを授けてくれるのではないかと思います。

(参考:「致知」2018年5月号)

古典に学ぶ

精神教育の衰え

(解説) 徳川三百年間を太平ならしめた武断政治も、弊害を他に及ぼしたことは明らかであるが、またこの時代に教育された武士の中には、高尚遠大な性行の人も少なくなかったが、今日の人にはそれがない。富は積み重なっても、武士道とか、仁義道徳というものが、地を払っておるといってもよいと思う。すなわち精神教育が全く衰えて来ると思うのである。

(参考: 洪沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)